

北魚沼あぜ道情報

2011年
4月号
JA北魚沼

がんばろう!日本!

東日本大震災で被災された方々に
心からお見舞い申し上げます。

二〇一一年三月一日、本店二階で打ち合わせ中でした。

ゆらゆらと横揺れが始まり、そのうち揺れもおさまるだろうと打ち合わせを続けましたが???みんなの目があつたその瞬間、慌てて外へ避難しました。

7年前の悪夢が甦り皆の表情が変わります。また地震・・・。

テレビで情報収集していた職員が「ワ―大変だー!」何が起きたの?「佐藤さん、実家へすぐ連絡しないと!」「え!」私事ですが、私の実家は青森で親兄弟が住んでいます。最初の報道では、東北で地震が起き日本海側で津波が発生したと流れました。目の前が真っ暗になりました。実家はその海岸沿い。

携帯電話など通じるわけがなく、それでも震える手で何回もかけました。「携帯じゃなく普通の電話はつながるらしいぞ。」の声に、職場の電話を借りて実家に電話をしたら、コールはするけど出ない・・・。いろんな事が頭を駆け巡り倒れそうになりました。でもコールするといふことは大丈夫かと思ひ、出るまで鳴らし続けたら「もしもし!」と父の声が。涙が止まりませんでした。

そのあと太平洋側で津波が起きたとの報道に、これは現実なのか。皆が茫然と立ち尽くしていました。

それからしばらくの間、正直どのような過ごしたか覚えていません。この恐ろしい大地震、津波が起きた現実を受け止められないでいた事だけは確かです。

今、被災地の皆様がどのような思いでいるのか・・・愛する家族を失った哀しみ、これからの生活に対する不安、安全な土地へ避難したいが、どうしてもこの土地を離れられない思い、ご飯が食べられる有り難さに涙を流していたおばあちゃん・・・地震や津波の恐ろしさを体験したことがない人でも、身を引きちぎられる思いが伝わってきます。

中越大震災では、全国の皆さんからたくさん義援金、支援物資そして、暖かい応援メッセージを頂きました。本当に有り難くて何度も手を合わせ涙を流しました。

した。

被災された皆さんはこれから長い期間、何年も不安な日々を過ごします。元の生活に戻ることが出来ても、深い哀しみは消えることはありません。

今私たちは、大きな義援金や支援物資を送ることができなくても、普段の生活での節電や募金活動への協力など出来ることから始めればよい。やがて大きな力になると信じています。

「がんばろう!日本!」

(JA北魚沼 佐藤)



魚沼産コシヒカリ 始動です。



コシヒカリの種を農薬ではなくお湯で殺菌消毒している様子

まだまだ雪が深く田んぼが顔を見せてくれませんが、今年も美味しい魚沼産コシヒカリをお届けする準備が始まりました。

その第一歩、種籾の消毒です。十年程前までは、希釈した農薬に浸して消毒していましたが、さらに安全で安心なコシヒカリが収穫まで健全でいられるよう、今では農薬を使わない温湯消毒方法で殺菌消毒しています。これは、六十度のお湯に十分間浸し、その後十分間冷水で冷やす方法で行われます。

最近の稲づくりは、農薬や化学合成肥料を使わない、昔ながらの農法が見直されています。地元のおじいちゃんも隠居しているところではありません。しっかり伝授し今後の魚沼産コシヒカリを次の世代に託します。